

総 評

数学と社会がやや難しく、国語と理科がやや易しめでしたが、五教科合計では平均的な難易度の出題でした。

中1のはじめに学習した内容は、3年間の学習の中ではほんの一部ですが、受験に向けての学習を積み上げるための土台ともいえるべき重要な内容です。小さなミスも見のがさず、間違えた原因をよく考え、しっかり復習してこれからの学習に備えてください。

道コンのようなテストは、高校に合格できるかどうかを予測するためのものではなく、目標に対する現在の自分の位置を確認するためのものです。どんな目標も、これからの学習次第では、近づいたり、遠のいたりします。結果がよくても安心せず、結果が悪くてもあきらめずに、目標をはっきりさせて学習を進めてください。

国 語

やや易しい出題でした。

㊦は、(6)の得点率が低かったです。「批」を「非」や「否」,「判」を「反」と書いているものが多く見られました。漢字を練習する際には、その漢字が使われている熟語も覚えるようにしましょう。㊦と㊧は、比較的よく解答できていました。しかし、空欄の前後の表現とのつながりが適切ではない解答が多く見られました。小さな減点を甘く見てはいけません。解答を書いたあとに、つながりが悪くないかどうかを確認するとよいでしょう。㊨は、問五の得点率がとても低くなりました。問題文には「その理由が書かれている部分」とあるため、「……から」という表現が文章中にあるのではないか、という予測を立ててから探すと、解答となる部分を見つけやすかったのではないのでしょうか。

数 学

やや難しめの出題でした。今回の出題範囲である「正負の数」や「文字の式の表し方」は、今後学習する「方程式」をはじめとした全ての分野の基礎となります。不明点を残すことなく、秋以降の学習に備えましょう。

①では、問1の計算の順序や符号の処理の誤りが目立ちました。間違えた原因をしっかりと突き止めて、二度と同じ間違いを繰り返さないようにしましょう。

③は正負の数の応用問題でした。問1では、小数と分数の置き換えや通分でのミスが目立ちました。計算過程はあとから見直しできるように書きましょう。

④, ⑤は「文字の式」の問題でした。単位をそろえて表すことに注意しましょう。速さ, 割合, 代金, 面積・体積などさまざまなテーマで出題されます。たくさんの問題に取り組み、表し方を身につけましょう。

社 会

やや難しめの出題でした。

地理分野では、計算が必要な資料問題の得点率が低くなりました。また、④問1の雨温図の問題は、温帯の気候の特色を見分けられていない人が多く見られましたので、間違えた人は降水量に着目して確認しておきましょう。

歴史分野では、基本的な語句などはよくできていましたが、位置を選ぶ問題や⑥問6(1)のような細かい内容に関する問題の得点率が低くなりました。

記述問題では、問題文の指示に従っていない解答のほか、指定語句の使い忘れや誤字などが目立ちましたので、解答を作成したあとは、問題に沿った解答になっているか、誤字や脱字、指定語句の書き忘れがないかなど、必ず見直しをするようにしてください。

理 科

やや易しい出題でした。

今回は基本的な内容が多く出題されていました。間違えたところの他に、すぐに答えが分からなかったところや、悩んだところも、しっかりと教科書などで復習して、今のうちに確実に身に着けておきましょう。

語句を答える問題や、知識中心の問題はよくできていましたが、計算問題や、実験や観察の結果をもとにして思考するものなど、思考力や応用力が必要とされるような問題は得点率が低くなるものが多かったようです。

これらの問題の対策はくり返し演習をかさねることが重要です。暗記だけでは高い得点をとることはできません。学習した内容が多くない今の時期に取り組んでおくと、優位に立つことができます。後回しにせず早くから始めておくことが大切です。

英 語

標準的な出題でした。

英語は2学期から学年末にかけて、少しずつ難易度が上がっていきます。苦手意識のある人は、まずは英単語や簡単な文法の復習から取り組みましょう。

①のリスニングの問題は比較的よくできていました。問3の英問英答の問題ではスペルミスが目立ちました。

②は設問ごとに得点率に差が見られました。問2(1)の曜日を答える問題では、小文字で始める誤答が多く見られました。問4(1)・(2)のような和文英作の問題は、スペルミスや文法上のミスが減点につながります。注意してください。③や④は適語補充や並べかえ、自由英作文の問題で得点率が低くなりました。英文を書く際には、基本的なルールを守り、採点する人に正しく伝わる英文を書きましょう。